

63 ミツユビカモメ

(チドリ目)

Rissa tridactyla

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、カムチャツカ、アリューシャン列島、アラスカ、カナダ、グリーンランドなどの北極沿岸で繁殖し、繁殖後にはやや南方に渡り、越冬する。日本では主に本州中部以北の太平洋上で越冬する。本州南西部以南には不定期に渡来する。外洋に生息するため海岸で観察される機会は少ない。主に魚類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州北・中部、粟島、佐渡、舢倉島、本州南西部、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、伊豆諸島沖



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

明石市、西宮市、洲本市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★淡路市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○									

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9月と12-翌3月に記録がある。県南部と県北部の沿岸で単独または5-7羽の群れが稀に記録されているが、個体数、観察例ともに極めて少ない。ただし、外洋に生息しているため、その実態はよくわかっていない。

保護上の留意点

海洋における分布および生息に関する調査が必要。また、餌となる魚類の生息環境である藻場の保全および再生が重要。